坂ろうだより

第３号
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
令和７年６月１日

白熱した運動会・体育祭

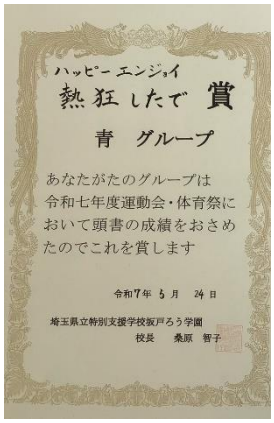
５月２４日（土）に運動会・体育祭を行いました。本校の運動会・体育祭では幼稚部から高等部まで幼児児童生徒が赤組と青組に分かれて競技を行います。「徒競走、玉入れ、対抗リレー」では真剣に競技に臨む姿が、「ダンス、応援合戦」では仲間たちと一緒に表現を楽しむ姿が見られました。今年の優勝は青組。青組３７０点対赤組３６４点の大接戦でした。

本校の良さは全校生徒が協力して活動できることです。中学部、高等部の生徒たちが幼稚部、小学部の幼児児童とペアをつくって玉入れを行うなど、人数が少ない分和気あいあいと活動することができます。「自分も大きくなったら先輩のようにかっこよくなりたい」と思う後輩たちと、それを誇らしげに思う先輩たちの関係は本校の伝統として引き継いでいってもらいたいものです。来年はそれぞれが１つ成長し、どんな姿を見せてくれるか今から楽しみです。

優勝 青組

『青い炎で熱狂を！』
～赤い炎に負けるな!!～

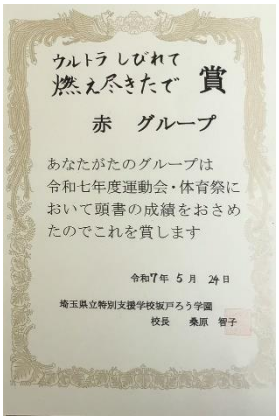
『気炎万丈』
～青組をひざまづかせるぞ！～



青組 370

幼稚部 表彰式

赤組 364



中学部・ねっこ ソーラン節

赤青対抗リレー

令和７年度学校公開のご案内

１ 日 時 ： 令和7年6月12日（木） 9:30～12:20（9:00～9:30受付）
２ 内 容 ： 学校概要説明、公開授業、施設見学、質疑応答等
３ 申し込み：本校 HP をご覧ください。また、地域の方で参加を希望される方は教頭までお問い合わせください。

この機会に地域の方も是非ご来校ください。

「古代から教室へのメッセージ」出前授業　５月２２日（木）

小学部６年生を対象に埼玉県埋蔵文化財団調査事業団の方々にご来校いただき、「古代から教室へのメッセージ」と題した土器に係る出前授業を行いました。

児童は会場に並べられた土器に興味深々で目を輝かせていました。

それらの土器が何時代のものなのか、昔の人たちは土器をどのように使っていたのか説明がありました。また、ばらばらになった土器を復元する「土器のジグソーパズル」や土器の模様づくりなどの体験活動を行いました。昔の生活に思いを馳せ、ロマンを感じる学習ができました。

勝呂福祉作業所まつり太鼓出演　５月３日（土）

昨年に引き続き、勝呂福祉作業所まつりで太鼓出演をしてきました。年度初めということもあり中高生合わせて５人が参加し、「雷神」「ぶち合わせ太鼓」の２曲を発表しました。
お客さんから初めて「アンコール！」をもらい、「ぶち合わせ太鼓」を叩き、たくさん拍手をいただきました。天気も良く、お客さんもたくさん来場し、おまつり自体も盛り上がっていました。今年で結成４８年となります。新しいメンバーも入り、今後の発表に向けて練習を重ねていきたいと思います。

お礼　以前の活気が戻ってきました

校長　桑原　智子

運動会・体育祭は、幼児児童生徒にとっても参観者にとっても、曇天の過ごしやすい１日となりました。来場者数は２０５名で、ご家族、卒業生、旧職員が昨年よりも多く集まり、コロナ前の活気が戻ってきたと実感できました。コロナ前は、運動会・体育祭と言えば「徒競走・競技・表現（ダンス・組体操）・全体種目・全校リレー」が定番で、お楽しみとしてＰＴＡ種目や教職員チームのリレー参戦もありました。華やかではありましたが、中高生徒は係の仕事もあり、かなり負担をかけていたと思います。ちょっと物足りない、けれども一人も熱中症にならずに楽しく終わる運動会・体育祭を目指すことも必要だと思っております。予行練習でも真剣に取り組む姿がありましたが、本番はご家族の方々の応援も加わり、張り切って走ったりダンスをしたりしている様子が目立ち、幼児児童生徒の底力にうれしくなりました。今年度は、体育祭実行委員長（教職員）を始め、体育委員長（生徒）、赤・青チームのリーダーが目標を一層明確に示してくれたので、みんなが同じ目的で取り組めました。学校全体を盛り上げようとする姿勢に感謝です。参観くださった保護者の皆さま、心温かい声援、ありがとうございました。